



研究室内に置かれた木のビルの模型 東京都目黒区、郭允撮影



## 地震でも 大丈夫

木造建築には、地震に弱いというイメージもつきまと。60年の阪神大震災では古木造住宅で倒壊などの被害多かった。

だが、木造だから地震に弱いわけではない。強度が必要なら、使う木材を大きくして大きくなればよい。最近では、工芸製品のように硬さや強度の品質が強化された「エンジニアードウッド」と呼ばれる木材が登場。ドームや体育館、学校などに樹脂建築物に使われることが多い。帆船などを複数台で組み合せて強度を高めた耐震材など

の技術も進んだ。

耐震性が懸念されているのは、10年前に改正された耐震基準に屬さない「既存不適格」の古木造住宅だ。壁を増やす、断熱を加える、などの補修をすれば、危険を大幅に減らすことができる。

支那



東京・表参道リーフの周辺に木造建築が建ち並んでいた

と報じられた



支那・郭允撮影

# ぬくもりの街並み 木造ビル

木造建築不況を解消・活性化させるには、まずは「木の良さ」を理解してもらうことから。建築的な木の良さは、實は「木のいいところ」と言つて、實は「木のいいところ」と言つて、建築的良さの高い木の特徴を出す。木の温かみや、日本の心地よさ、木の持つぬくもりが、木の良さだ。木の温かみや、日本の心地よさ、木の持つぬくもりが、木の良さだ。

NANTO-KA GAKU



土曜

力学

「木のいいところ」は、実際には単純ではない。木造建築は単純な構造ではない。木造建築は、それを構成する「木」から成る複数の構造要素が、複数の力で、複数の力を協調して、その全体として構成される複雑な構造だ。それを構成する「木」から成る複数の構造要素が、複数の力で、複数の力を協調して、その全体として構成される複雑な構造だ。

これが、木のいいところだ。木をもつて、木のいいところを生む。それが、木のいいところだ。

## 都市に二酸化炭素をためる

この木造は、建築業界を変える。**Imberger**の試験ではない。東京大生源技術研究所で作った、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。

「木造は、木造技術研究所」(つじゅう)で、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。

木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。

木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。

木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。木造の「木造技術研究所」(つじゅう)は、木造の「木造技術研究所」(つじゅう)だ。